

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、**麻痺性貝毒の原因種とされるギムノディニウム・カテナータムが最大で32細胞/mL**、同じく麻痺性貝毒の原因種アレキサンドリウム属が2細胞/mL確認されました。また魚類に対して有害なケラチウム属が最大で5細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、麻痺性貝毒の原因種とされるギムノディニウム・カテナータムが栄喜奥で0.02細胞/mL確認されました。

ギムノディニウム・カテナータムにつきましては1細胞/mL（警戒基準）を上回っており、二枚貝（食用を含む）の毒化を引き起こす恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属	ギムノディニウム・ カテナータム
A 藻津 (6.7m/36.2m) 【09:33】	0	22.8	33.8	7.3	0	0	0	0
	5	22.2	34.4	7.2	0	0	0	0
	★ 10	22.0	34.4	7.1	0	0	0	0
	15	21.7	34.4	6.7	-	-	-	-
	20	21.4	34.4	6.6	-	-	-	-
B 宇須々木 (6.2m/27m) 【09:24】	0	22.8	33.7	7.4	0	0	0	0
	5	22.2	34.1	7.1	0	0	0	0
	★ 10	21.5	34.3	6.8	0	0	0	0
	15	21.4	34.4	6.7	-	-	-	-
	20	21.1	34.4	6.6	-	-	-	-
C 大島中央 (7m/30.6m) 【09:42】	★ 0	22.8	33.8	7.3	0	0	0	0
	5	22.5	34.5	7.3	0	0	0	0
	10	22.3	34.5	7.3	0	0	0	0
	15	21.8	34.5	7.3	-	-	-	-
	20	21.6	34.5	7.4	-	-	-	-
D 小筑紫中央 (6.2m/15.3m) 【09:52】	★ 0	22.6	34.3	7.2	0	0	0	0
	5	22.6	34.4	7.2	0	0	0	0
	10	22.4	34.5	7.3	0	0	0	0
	15	22.0	34.5	7.1	-	-	-	-
	20	21.5	34.5	6.8	-	-	-	-
E 真珠 (4.9m/31.7m) 【09:06】	0	23.4	33.6	7.4	0	0	0	0
	5	22.2	34.2	7.2	0	0	0	0
	★ 10	21.3	34.3	7.3	0	0	0	0
	15	21.1	34.3	6.9	-	-	-	-
	20	20.9	34.4	6.8	-	-	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ケラチウム 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属	ギムノディニウム・ カテナータム
F シラハエ (5.9m/37.5m) 【10:04】	0	23.3	34.0	7.4	0	0	0	0
	5	22.1	34.2	7.4	0	0	0	0
	★ 10	21.5	34.4	7.1	0	0	0	8
	15	21.2	34.4	7.0	-	-	-	-
	20	21.0	34.4	6.9	-	-	-	-
G 立石 (7.9m/23.1m) 【10:13】	0	23.5	33.8	7.5	1	0	0	0
	5	21.7	34.4	7.6	0	0	0	0
	★ 10	21.3	34.4	7.6	0	0	0	0
	15	21.1	34.4	7.5	-	-	-	-
	20	21.0	34.4	7.4	-	-	-	-
H 一切田 (6.4m/21.6m) 【10:39】	0	23.9	33.1	7.6	3	0	0	0
	5	22.1	34.3	7.5	0	0	0	0
	★ 10	21.5	34.4	7.6	1	0	0	0
	15	21.1	34.4	7.4	-	-	-	-
	20	21.0	34.4	7.2	-	-	-	-
I 栄喜奥 (5.4m/10.1m) 【10:23】	0	23.4	34.1	7.3	1	0	2	0
	5	22.1	34.4	7.5	1	0	0	0
	★ 10	21.6	34.4	7.2	0	0	0	0
J ヒロウラ (5.2m/25m) 【10:53】	0	23.5	33.9	7.5	0	0	0	0
	5	21.7	34.4	7.4	5	0	0	0
	10	21.3	34.4	7.6	0	0	0	16
	★ 14	21.2	34.4	7.4	0	0	0	32
	15	21.2	34.4	7.5	-	-	-	-
	20	21.1	34.4	7.2	-	-	-	-
K 青瀬山 (4.7m/16m) 【10:30】	0	23.8	31.9	6.9	1	0	0	0
	5	22.3	34.3	7.6	0	0	0	0
	10	21.6	34.4	7.5	0	0	0	2
	★ 14	21.2	34.4	6.6	0	0	0	0
	15	21.1	34.4	6.5	-	-	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

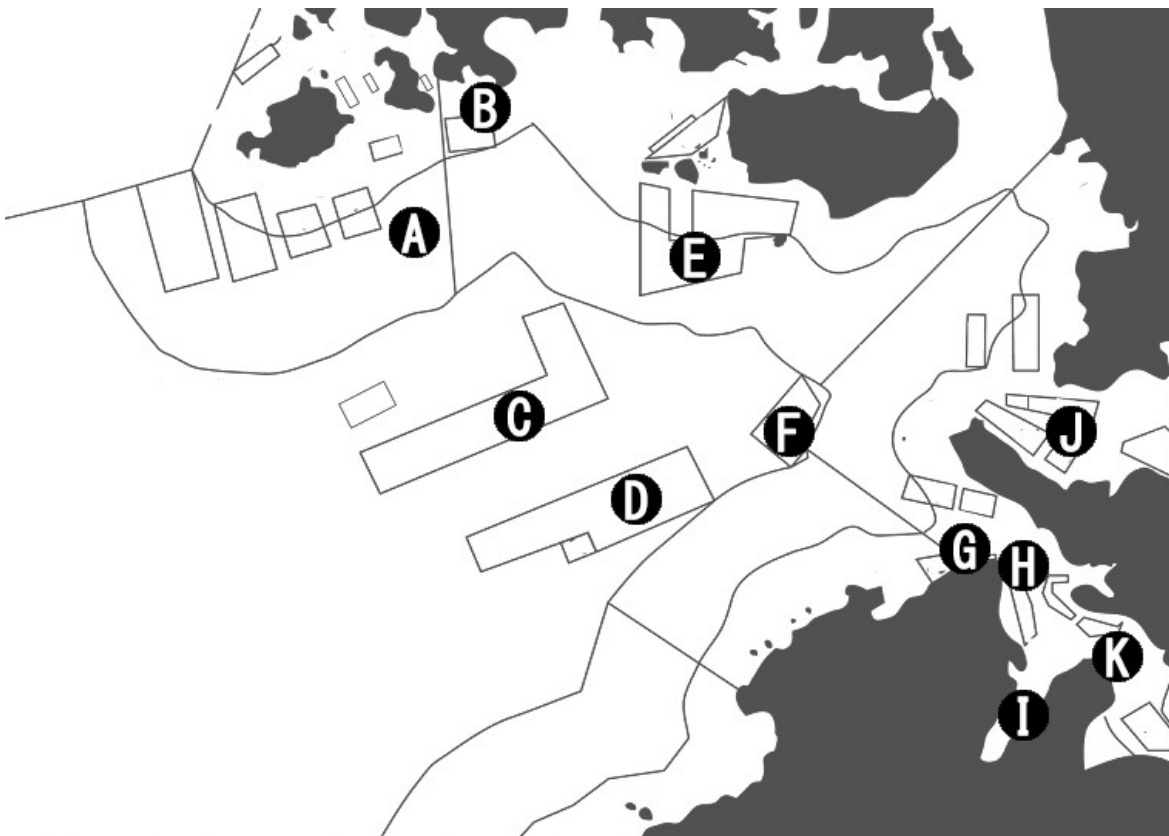
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
ケラチウム属	魚類の餌食い悪化	100 cells/mL	—	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	3～5月
ギムノディニウム・カテナータム	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

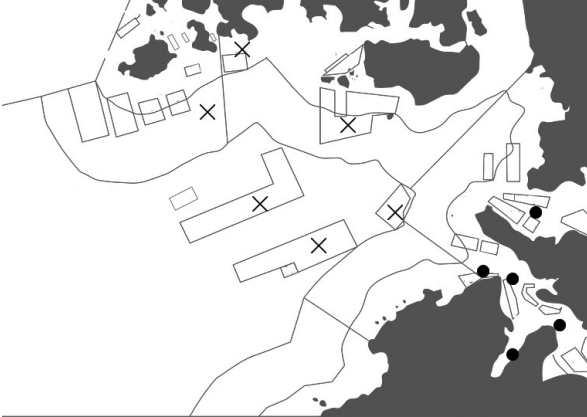
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。

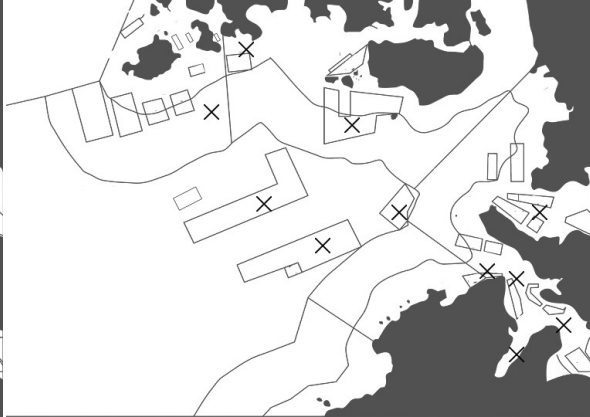


- A: 藻津
- B: 宇須々木
- C: 大島中央
- D: 小筑紫中央
- E: 真珠
- F: シラハエ
- G: 立石
- H: 一切田
- I: 栄喜奥
- J: ヒロウラ
- K: 青瀬山

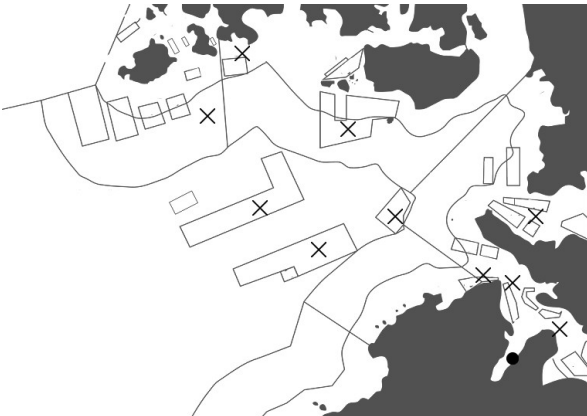
ケラチウム属
 最大細胞密度



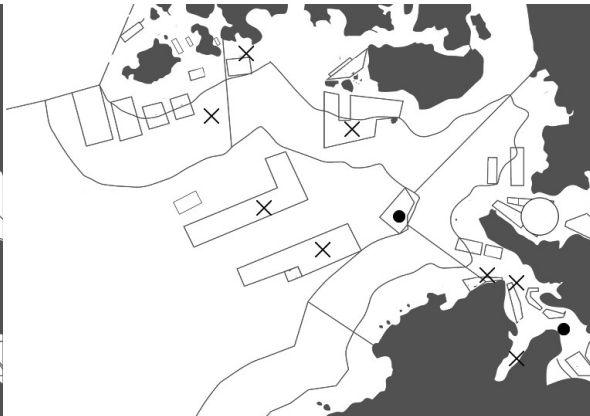
コクロディニウム・ポリクリコイデス
 最大細胞密度



アレキサンドリウム属
 最大細胞密度



ギムノディニウム・カテナータム
 最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ
 円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色
 黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
 基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

